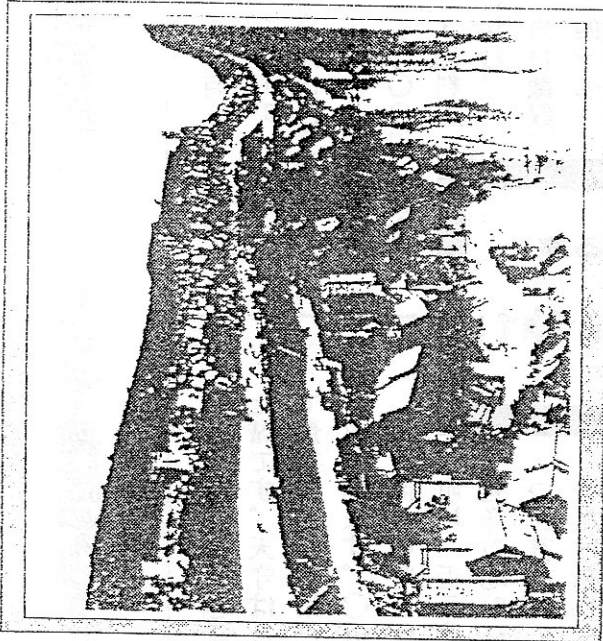
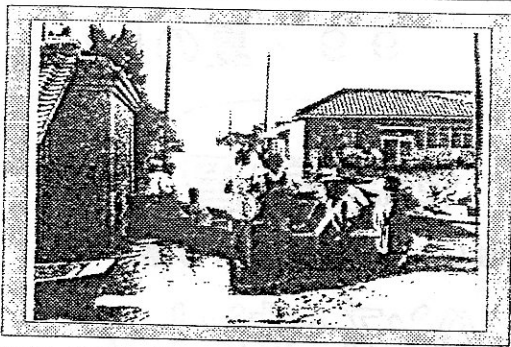


摂津なつかし写真館



↑ 決壊寸前の淀川堤防



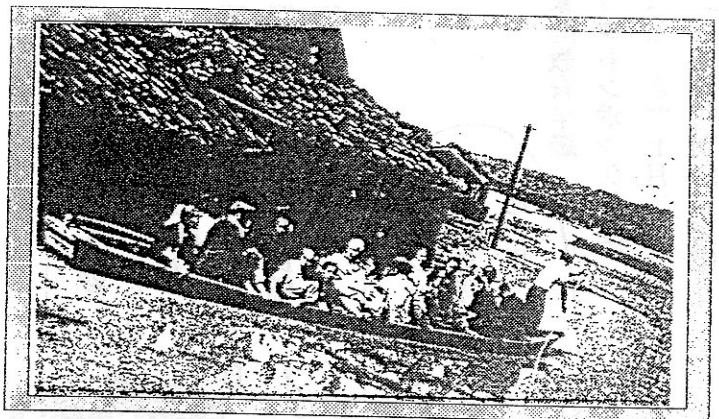
↑ 水がひき始めた鳥飼村の風景

13号台風洪水

昭和二十八年九月二十四日、淀川増水のため鳥飼付近の堤防が決壊寸前となります。芥川等上流部が先に

決壊し、淀川右岸一帯が洪水となりました。摂津市域でも床上浸水など大きな災害のつめあとを残しました。

↓ 舟で避難する人々

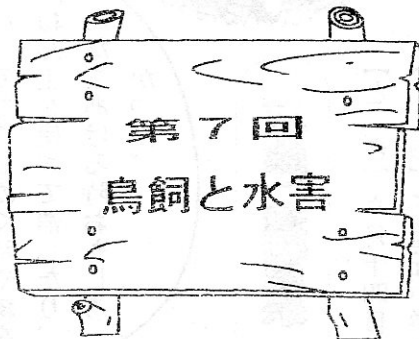


郷土振興 いにしえ通信

第18号

平成十一年十月一日
発行
摂津市三島一丁目一番一号
摂津市教育委員会
生涯学習部 生涯学習課

また、お寺の本堂の床下に避難舟を置き水害に備えていました。あまりにも水害が多いため、淀川堤防の改修工事が進められ、昭和三十九年に完成しました。それ以後水害は起こっておりません。
しかし、改修工事のため、堤防はさらに集落に接近し、周辺の景色は大きく変わりました。



摂津市の鳥飼は淀川や安威川にはさまれ、昔から水害になやまされてきました。特に台風による豪雨で、よく浸水被害がありました。そのため水害が起きると舟で避難するため水害避難舟を家の倉庫に吊っていました。

お知らせ

文化の秋！近江路のんびり散歩！

と き 十一月十七日(水)

出発時間 午前八時三十分

集合場所 摂津市民文化ホール前

解散時間 午後四時三十分頃

参加費 五〇〇〇円(昼食代、

入館料を

含む。

当日徴収)

定 員 四十名

〇雨天決行 ただし

注意報の場合は延期

コース

摂津市民文化ホール

安土城天主信長の館

近江商人博物館

白壁と蔵屋敷の町見学

摂津市民文化ホール

主催 摂津市文化財愛護会
後援 摂津市教育委員会

近江路の文化にふれる旅

「ふらり博物館 安土・五個荘をたずねて」

申し込み

官製ハガキに氏名・住所・電話番号を記入の上申し込み。
10月1日より下記申し込み先へ(先着順)

申し込み先

☎566-0046

摂津市別府1-8-11 濱口新次

〇安土城は謎に包まれた城です。天守は日本で最初の高層建築と言われています。〇近江商人の町五個荘

町は、近江商人発祥の地のひとつと言われているだけあり白壁と蔵屋敷の町並が並んでいます。

99・夏の思い出

体験学習

触り、感じ取る。「体感」

ハンズ・オン!

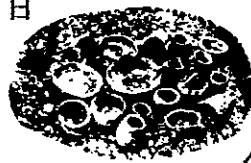
土器づくり

ドキ!ドキ!土器づくり

【と き】八月九日・二十三日

【ところ】千里丘公民館

【参加数】二十六名



土器づくり

【と き】七月二十五日・三十一日

【ところ】別府公民館

【参加数】三十六名

〇ねん土をたまごがたにするのが、たいへんだった。でもくりぬく時や線をねん土を使って消したり、あなをあける時おもしろかった。

「体感」遺物展示

【と き】六月十四日

【ところ】千里丘小学校

【対象】小学六年生

〇難しい!よくこんなものを縄文時代の人々は作ったなあと思った(Y・Y)

家庭教育学級

コットンポツケ講座

【と き】七月二十八日・八月二十六日

【ところ】別府公民館

【参加数】三十五名



触って、感じる遺物展示



鳥飼の歴史

氏族と鳥養部

国家の構成要素であつた同族集団を氏族と呼び、集団の族長的立場の首長が氏上として一般構成員の氏人や、その私有民である部民・奴婢を支配していました。部民は、支配者に物資や労役を提供する義務を負い、集団ごとに大伴部・中臣部のように豪族名、鳥養部・錦織部のように職能名、三島部のように地名などをつけて呼ばれていました。『古事記』には、鳥甘部（とりかいべ）という文字が出てきます。また、『日本書紀』には、ホムツワケノミコトは生来三十歳に至るまで一言も口をきかなかつたが、鶴がきつかけとなつて言語を発し、その快挙に対する賞に關連して鳥養部を設置したということが記載されています。

さらに、『日本書紀』雄略天皇十年九月にも鳥養部の名称が記載されています。

鳥養部は、鳥飼という地名で名を伝えており、摂津国嶋下郡にあたる摂津地域の鳥飼（明治以前はほとんど鳥養と記されていました）のほか、淡路国津名郡・筑前国早良郡・筑後国三潯郡などに存在し、これらの地域は鳥養部に属する人たちが居住したところだといわれています。

鳥養村

近世初期の村名で、鳥養郷ともいわれました。後の鳥養上之村・同中之村・同八町村・同下之村・同野々村・同西之村・同八坊村の七力村をさします。北を安威川、南を淀川に挟まれた低湿地帯であるため、水防上、輪中地帯のように四周に囲堤が築かれています。囲堤は安威川沿いに頼殿堤、淀川沿いに淀川堤、

東の島上郡三方牧四力村との境に千間縄手、西の一津屋・新在家・別府三方村との間にうげふせ縄手があり、これらは十六世紀なかば頃には築堤されていたとみられます。

嘉吉元年（一四四一年）の「建内記」に、「鳥養牧東西両村」の記載がみえ、当時東村・西村と、おそらく上・中・下三方村の計五力村からなっていたと推測されます。天正十六年には上・中・下・西の四力村がみえ、慶長十年（一六〇五年）には八町村・鳥飼村・中野村・下野村・西村・□村がみえ、元和元年（一六一五年）には鳥養・中村・上村・下村・八町・西ノ村がみえます。寛永一正保期（一六二四年〜四八年）には八町村は中村に一括され、新たに野々村・八坊村の村名がみえ、結局江戸時代中頃までには中之村の枝郷八町村を含めて七力村に分かれました。しかし、水防や用排水などで郷的結びつきは非常に強く、七力村はいずれも鳥養の称を村名に冠して鳥養郷と総称されています。

した。鳥養郷七力村は文祿四年（一五九五年）から慶長五年（一六〇〇年）までは高槻城主新庄直頼領で、直頼が関ヶ原の戦いで改易になると大和竜田藩片桐且元領と幕府領に転じました。寛永十五年（一六三八年）の片桐孝利の死後、竜田藩領は解消されて高槻藩領に組入れられたとみられ、以後幕末まで高槻藩領として続きました。

鳥養郷は低湿地帯にもかかわらず、一部には二毛作田があり、また、裏作には菜種を栽培していたようです。助郷役は果たされませんでした。淀川をさかのぼる幕府御用船の綱引人足を負担してました。

「摂津市史」、平凡社「大阪府の地名」より
（担当） 茗荷



考古雑話

第 1 8 回

摂津市と水田の考古学

水田発掘のあゆみ(六)

○小区画水田が意味するもの
 前回紹介しました小区画水田(愛称ミニ水田)は近年、検出例もあいつぎ弥生水田の変遷を考えるうえで意味深いものがあります。

ここでは、まず弥生水田の立地を地形ごとにA、Dの四類に分類(工業普通『水田の考古学』一九九一・東京大学出版社より)し考察してみたいと思います。

A類 高低差の少ない沖積地や扇状地上に立地。大きな区画をとります。地盤が軟弱なことから畦畔の護岸のため矢板や杭を打ち込み補強。

(該当遺跡)
 福岡県板付遺跡、静岡県登呂遺跡、岡山県津島遺跡など。

摂津市と水田の考古学

B類

微高地の縁辺から低湿地にかけての緩やかな傾斜を利用。水田区画は概して小さく傾斜の度合いに応じて大小に区画しています。その形は等高線に左右され不定型となることが多いと言えます。

(該当遺跡)

岡山県百間川遺跡、大阪市長原遺跡、兵庫県志知川沖田南遺跡、群馬県日高遺跡など。

C類

ほとんど傾斜のない平坦地に立地し小区画水田の典型と言えます。その一区画の面積は極端に狭く(五mから十mあまり)、一般に方形で基盤目状に整然とならんでいますが、のちの条里水田のような規格があるわけではありません。

(該当遺跡)

群馬県御風呂遺跡、日高遺跡I区、同道遺跡など。

D類

古代に設定された条里制の地割りにのっとって里単位で大きく区画され、さらにその中が方一町の地割りで三十六の坪に区画されたものです。立地としては、A、C類のいずれの場合もありえます。

(該当遺跡)

最近各地でこの種の水田の発掘が多くなり、福岡県伊倉遺跡、岡山県南方釜田遺跡などが該当します。

以上が水田の立地と地形の四分類です。この内B類の一部とC類が小区画水田に該当します。

まず考えておく必要がある事は、当然のことですが、当時は重機などもなくすべて人力で行っていた事です。そのような状況のなかでは、土地の掘削、土盛りなど開発行為全般が多量な労働力を要したであろうことは想定されます。水田経営には灌漑がつきもので水位差を利用した取水と排水は水田の立地を左右する大きな問題だったでしょう。

(つづく)

〔つ〕 壺棺

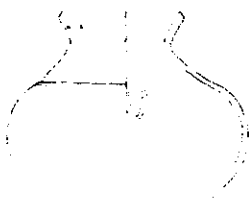
○主として弥生時代にみられる棺。土器を利用したものでその形態から口部が狭く、胴体がふくらみ、底が小さく安定に欠くと言えらる。○壺棺は口部が狭く成人の遺体を収めることは困難で、再葬および乳幼児の遺骸を埋葬した状況が想す。○摂津市内で蓮寺に所蔵されている弥生時代前期(畿内第一様式「中」)の壺が全面に朱塗りされ胴部に穿孔をもち壺棺の可能性がありま



蓮寺に所蔵されている弥生時代前期(畿内第一様式「中」)の壺が全面に朱塗りされ胴部に穿孔をもち壺棺の可能性がありま



光蓮寺所蔵・弥生土器壺



実測図

担当

(伊部)